

平成29年度 地域生涯学習活動実践交流セミナー 事業報告

○ 事業の概要

- 1 研究テーマ 「地方創生の時代における社会教育行政の在り方」
～ 学びと活動の循環を促すための方策について ～
- 2 目的 本道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通し、北海道における生涯学習活動推進上の課題解決を図る。
- 3 主催 北海道立生涯学習推進センター、北海道社会教育主事会協議会
- 4 期 日 平成30年2月15日（木）～ 16日（金）2日間
- 5 会 場 道民活動センタービル「かでの2・7」（かでのホール他）
- 6 対 象 市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員（社会教育委員、生涯学習審議会委員等）、生涯学習・関連施設職員、社会教育関係団体職員、民間団体（NPO、ボランティア、企業等）関係者 等
- 7 参加状況 参加者数 193名〔社会教育関係職員162名 社会教育関係職員以外31名（定員200名）〕

ブロック 管内	道 央			道 南				道 北			道 東			道外	
	空知	石狩	後志	胆振	日高	渡島	檜山	上川	留萌	宗谷	林-ㇿ	十勝	釧路		根室
参加数	19	34	9	7	9	16	8	17	7	9	14	19	18	6	1
ブロック 人 数	62			40				33			57			1	
合計人数	193														

8 プログラム

9:30 10:00 10:15		11:10		12:15 13:30		14:30		17:00	
第1日目 2月15日 (木)	受付	開 会	行政説明	事例研究	昼食・休憩	報告	分科会	解散	

9:30		11:15		11:45 13:00		14:30	
第2日目 2月16日 (金)	分科会	全体会	昼食・休憩	特別講演	閉 会	解 散	



(1) 行政説明

【報告者】講師 文部科学省生涯学習政策局社会教育課
課長補佐 丹野 史教 氏

【内 容】 「地方創生の時代における社会教育の今後の方向性」と題して、地域社会を取り巻く環境の変化の現状や事例、社会教育に関する答申についてお話しいただいた。

また、社会教育主事講習規定の一部改正や公立社会教育施設の所管の在り方検討に関すること等、最新の国の動向について説明いただいた。



(2) 事例研究

【発表者】沼田町住民生活課移住定住応援室兼教育委員会主査 岩井 俊直 氏
真狩村総務企画課商工観光係長 藤本 篤 氏

【内 容】 現在、首長部局で御活躍の両氏から、それぞれが現在取り組んでいる職務内容や、現在の職務に生かされている社会教育主事時代に培ったこと等についてお話しいただいた。

岩井氏からは、沼田町における移住定住の取組の事例、藤本氏からは、真狩村における観光振興の事例についてお話しいただいた。

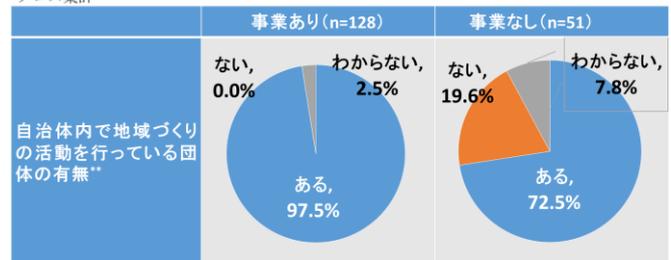


(3) 報告

【報告者】北海道立生涯学習推進センター主査 尾 山 清 龍

【内 容】 各ブロック研修会及び生涯学習推進センターの調査研究の報告を行った。調査研究の報告では「教育委員会が地域の担い手育成事業を行うと、その自治体内で地域づくりの活動を行う団体は多くなる」こと等、「地域づくりの担い手育成」に関する調査により明らかになったことを報告した。

「問3担い手育成事業の有無」と「問1自治体内で地域づくりの活動を行っている団体の有無」のクロス集計



(4) 分科会

【事例発表】

<第1分科会「青年の活躍」>

事例	発表者	進行
高校の活動を地域に伝える「ハイスクールフェス事業」	中標津町教育委員会社会教育主事 和田 康弘 氏	弟子屈町教育委員会 公民館学習推進係長 (社会教育主事)
「ピュアモルトクラブ活動支援事業」	鹿迫町教育委員会社会教育課社会教育係長 迫田 明巳 氏	杉崎 瑞穂 氏

<第2分科会「高齢者の活躍」>

事例	発表者	進行
「スクールガードボランティア交流・研修会の取組」	稚内市教育委員会社会教育課社会教育グループ主査 大沼 拓哉 氏	上富良野町教育委員会 教育振興課社会教育班主事
「おびらふるさと塾」	小平町教育委員会社会教育課文化係長 長澤 政之 氏	小田島亮悟 氏

<第3分科会「家庭教育支援」>

事例	発表者	進行
「家庭教育なんでも相談『さあ来る』の取組」	家庭教育なんでも相談さあ来る代表（岩見沢市） 高橋美智子 氏	長沼町教育委員会 社会教育課社会教育主事 伊藤 義斗 氏
「小樽市『わくわく共育ネットワーク』の取組」	小樽市教育委員会生涯学習課生涯学習グループ主査 佐野 英昭 氏	

<第4分科会「地域学校協働活動」>

事例	発表者	進行
「様似町における学校支援事業の取組」	様似町教育委員会社会教育係主事 鈴木 貴也 氏	福島町教育委員会 社会教育主事 西原 聡 氏
「壮瞥町における地域学校協働活動」	壮瞥町教育委員会課長補佐（社会教育主事） 永堀 善之 氏	

【内 容】 4分科会それぞれにおいて、地域で活動する方々と行政の関わりに主眼を置いた二つの事例の発表を行った。それを受け、グループで「学び」と「活動」の循環や地域の「持続・発展」に向けた「行政側からのアプローチ」について協議した。



(6) 全体会

【助言者】学校法人 文教大学学園理事長 野島 正也 氏

【進 行】北海道社会教育主事会協議会会長 杉山 俊宏

【内 容】 各分科会での研究協議の内容を参加者で共有し、今後の取組や方向性について考えを深めた。各分科会の代表的なアプローチとして、「企画の始めの段階で若者に行政課題を提示する」「高齢者のモチベーションを上げるために感謝状・表彰などを行う」「子育てサークル等のモチベーションが低く、自立が進んでいないところには、行政が事業を行うなどつながらる場の提供を行う」「学校の環境が十分に整えられる前に行政の側から建設的な提案をする」などのアプローチが提示された。



(7) 特別講演「生涯学習・社会教育における学びと活動の循環を促すための方策」

【講 師】学校法人 文教大学学園理事長 野島 正也 氏

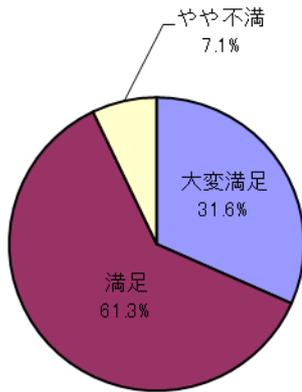
【内 容】 「人生100年時代」や「コミュニティ」における生涯学習の考え方、今後、社会教育が担うことを期待される役割等、多岐にわたり御示唆をいただいた。最後に、社会教育の関係委員や職員、生涯学習実践者への期待として、学びと実践の循環を促す「気風」を醸成し、地域のつながりをつくるために関係者が「指導者」から「主動者」となり、活躍してほしいというメッセージをいただいた。



○ 事業の満足度

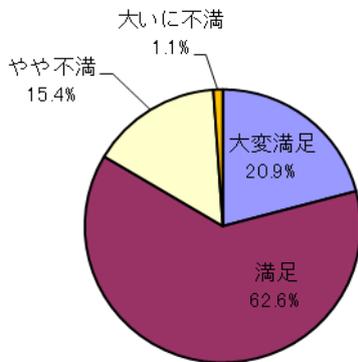
1 講座全体への満足度

回答者数 101 名 (回収率 52.3%)



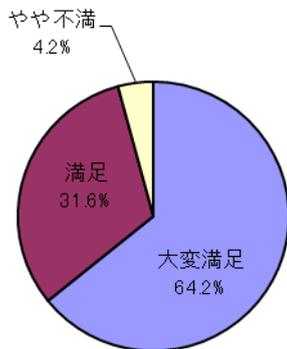
満足度	大変満足・満足			
	92.9%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	31.6%	61.3%	7.1%	0.0%

2 (1) 行政説明



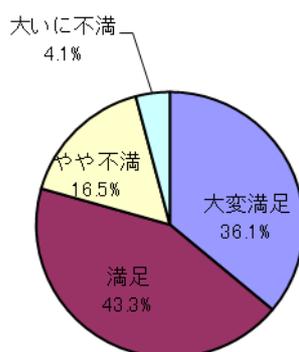
満足度	大変満足・満足			
	83.5%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	20.9%	62.6%	15.4%	1.1%

(2) 事例研究



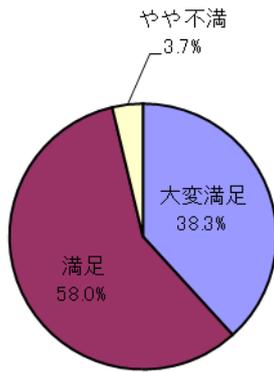
満足度	大変満足・満足			
	95.8%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	64.2%	31.6%	4.2%	0.0%

(3) 分科会



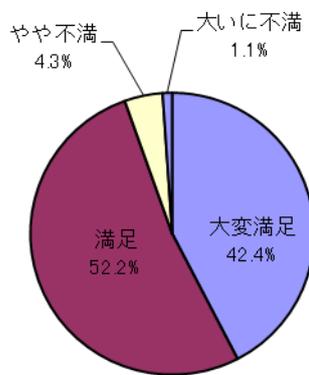
満足度	大変満足・満足			
	79.4%			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	36.1%	43.3%	16.5%	4.1%

(4) 特別講演



満足度	大変満足・満足			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	38.3%	58.0%	3.7%	0.0%

3 講座の運営



満足度	大変満足・満足			
	大変満足	満足	やや不満	大いに不満
	42.4%	52.2%	4.3%	1.1%

【参加者の主な声】

<セミナー全体を通して>

- 参加者間の協議から、今後の実践のヒントを得ることができた。
- 非常に意欲的な方ばかりで、分科会で勉強になることが多かった。
- 社会教育職員が地域創生とつながりを見出せる可能性を感じた。
- 分科会の内容、進め方が少しわかりにくかった。
- 分科会の進行にセンター職員が関わった方が良いのではないか。

<行政説明>

- ミニマムコミュニティの大切さが理解できた。
- 制度の理解が深まった。
- 教育分野外の話も聞けて、とても参考になった。
- 聞いたことのある話が多かった。

<事例研究>

- 配置転換により首長部局で活躍している元社会教育主事の取組という視点が面白かった。
- 社会教育の経験が他部署でも大いに生かせることが分かった。現在の職務をもっと頑張っていきたい。
- 社会教育以外からの視点で進めていたつものものも、やはり社会教育だと感じた。
- 内容が良かっただけに、時間が少なかったのが残念だった。

<分科会>

- 学校と地域をつなげるための様々な手立てを聞くことができた。
- ワークシートをもとにして協議を進め、学び考え合うことができた。
- 実践事例が良かった。参加者からの活発な意見が出た。
- 人数が多かったこと、時間が足りなかったことが不満である。もう少しグループ内で参加者とのディスカッションができると良かった。
- 最終的なまとめが見通しにくく、議論を深めにくかった。

<特別講演>

- 分科会での協議からつながる講演で、これまでの研究の理解が深まった。
- 「主動者」となって地域の課題解決を図っていけるよう努力していきたい。
- 今の自分の活動について整理することができた。
- 成長するために好奇心を持ち続けることを大切に、事業を展開していきたい。
- 今ひとつ理解ができなかった。

<セミナーの運営>

- 活発な話し合いができた。参加者の姿勢が良かった。
- 円滑な運営だった。
- それぞれのテーマに沿った事例、道主事会、センターなど連携ができていた。
- 全体会は必要ない。情報共有をするのであれば、レポートなどを詳しく書いた方が内容を深く知れる。議論の時間が長い方が良い。
- 分科会の場で破綻しつつある段階で助言がなく、そのまま進められていたことが非常に残念。
- 講演中、参加者も含め出入りが多く、気になった。

<その他>

- 市町村の展示ブースが良かった。今後、多くの市町村が参加すると良い。
- グループワークが難しいのではないかな。